

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業> 別添4

都道府県・
指定都市名

徳島県

学校名

徳島県立富岡東中学校

人権課題

ハンセン病患者等

対象学年・
取り扱った教科等

中学3年生・道徳科

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病問題を他人事としてではなく、自分自身の問題として受け止めながら、二度と同じような過ちが繰り返されないよう、ハンセン病について正しい知識を学び、偏見や差別を許さない心情や態度を育成する。

実施した内容

- ・厚生労働省作成のパンフレット「ハンセン病の向こう側」（中学生向け）を読んで、ハンセン病について、正しい知識を学び、ハンセン病回復者やその家族の思いを理解する。（1時間）
- ・病気の原因や治療法が発見されたにもかかわらず、ハンセン病患者や家族に対する偏見や差別がなぜ生まれたかについて、グループで考える。（1時間）
- ・教材「中学生のみなさんへ～ハンセン病と私～」（わたしの願い）を学習し、徳島県ハンセン病支援協会会長の著書の中で紹介されている回復者の思い（抜粋）を聞き、自分の考えをまとめる。（1時間）

工夫した点

- ・ハンセン病に限らず、感染症や難病については、種類も多く、個人差があるため、外見から患者だとわかる場合もあれば、外見からは判断できないこともあるため、病気に対する偏見や無理解により、差別を受けることがあることに気付かせるよう工夫した。
- ・患者に対してだけでなく、その家族に対する偏見や差別をなくしていくことも大切であることに気付かせるよう、患者の家族の体験談等を紹介した。
- ・ハンセン病に対する無関心が差別を残す原因になっていること気付かせるよう工夫した。

他教科との
関連

- ・保健体育科の授業でハンセン病について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛知県

学校名

西尾市立東部中学校

人権課題

ハンセン病患者等

対象学年・
取り扱った教科等

中学2年生・総合的な学習
・国語

目標・人権教育のねらい

- ・生徒にとって未知の分野であったハンセン病問題について正しく理解する。
- ・ハンセン病に対する差別や偏見について理解した上で、その学びを生かそうとする意欲や態度を養う。
- ・学びを短歌として創作し、学年全体で短歌集を創り上げ、発信することで、差別解消に貢献しようとする行動する意識を育てる。

実施した内容

- ・総合的な学習の時間にハンセン病問題について調べ、まとめ、学年全体でポスターセッションを行う。
- ・国立ハンセン病資料館の方や元ハンセン病患者の方とオンラインで心の交流を図る。
- ・国語科で短歌を学び、学習したハンセン病問題についての短歌を創作し、短歌集として学年全体でまとめ上げ、発信した。

工夫した点

- ・オンラインにより元ハンセン病患者の方と交流することで、差別を受けた心の痛みを自分事のように知ることができた。
- ・短歌を創作する過程で、何度も言葉を吟味したり、共同で推敲する場面を設けたことで、生徒自身が感じたハンセン病問題の深層を表現しようとする姿勢がみられた。
- ・短歌集は各自の短歌だけでなく、学習の記録文や人権作文等も集録して一冊の本（冊子）としたことで、生徒にとって学びが記録として残り、大きな学びの財産となった。

他教科との
関連

- ・国語科で元ハンセン病患者が創作された短歌を鑑賞し、短歌創作に関わる学習をした。